

# 本と出会い、本が人をつなぎ、人がまちをつくる、出会いのたねが芽吹く「つながりめぐるイーハトーブ図書館」

宮沢賢治が愛した花巻。イーハトーブの理想に一番近いこの地には、ゆたかな自然があり、そこで育まれてきた歴史・文化がある。そしてそこには人々の営みがあり、ゆたかな自然や文化の中で醸成されてきたコミュニティの絆がある。さらにこのゆたかな地を求めて訪れる多くの来訪者により、外部との交わり、つながりが生まれている。

このゆたかな地・花巻を形づくる背景を再解釈し、空間づくりに引用することで、本と出会い、本が人をつなぎ、人がまちをつくる、花巻のこれからの一歩づくり・まちづくりの拠点となる新しい場所「新図書館」を創ることができるのでないかと考えた。

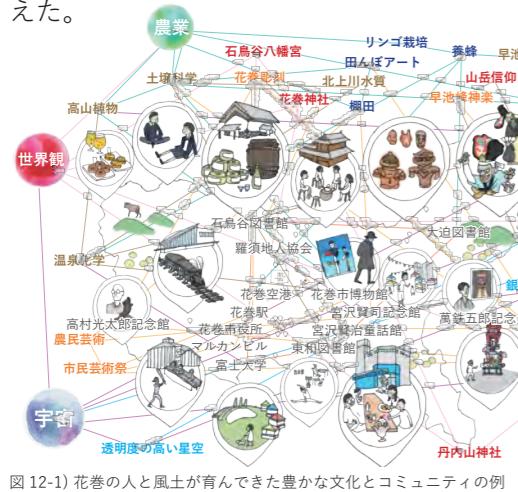


図12-1) 花巻の人と風土が育んできた豊かな文化とコミュニティの例

蛇行する北上川が豊かな大地を育て、風景・文化を醸成する花巻の地



図12-2) ゆたかな地が育む多様な文化がある花巻

西は奥羽山脈、東は早池峰山のある北上高地に囲まれた北上平野。蛇行する北上川の緩やかな流れが創る花巻の豊かな地は、美しい田園風景を育て、宮沢賢治をはじめとする作家による多彩な文学を生み出してきた。そして、そのゆたかな風景のもとで営まれる生活の中で、郷土の文化・伝統を育んできた。

蛇行する人の流れが「ひだ」をつくり、関係性や出会いを生み出す新図書館



図12-3) 蛇行する人の流れが出会いを生み出す新図書館のイメージ

駅、広場、なはんプラザに囲まれた新図書館。蛇行し四方から集まる人の流れが、人や情報のたまりの場となる「ひだ」を創り、関係性や出会いを生む。ここを訪れる市民や観光客など多様な人々の想いを受け止め、重ね合わせ育まれていく広く開かれた新図書館は、市民に寄り添い、対話し、皆で生活を良くするための新たな時代の羅須地人協会を育み、異なる営みが響き合い、市民が豊かで楽しい生活を送るための文化・芸術が育まれる場となる。



図12-7) 周辺施設と一緒に、ひとづくり・まちづくりの拠点となる新図書館の外観イメージ

みんなの拠り所となり、ひとりひとりに寄り添い、花巻のひと・まちとともに未来へ育ちゆく新図書館を実現するための4つのポイント

## 1 まわりと交わり、全てをつなげる

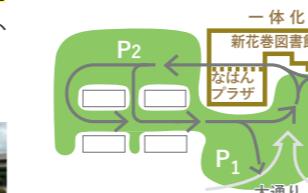
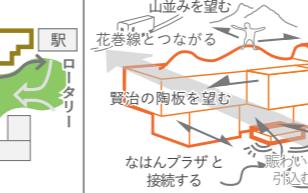


図12-8) すべてとつながる

駅、広場、なはんプラザなどの、周辺施設からの人の流れを踏まえた建物配置と既存との接続、出入口位置や軒下通り抜け通路計画を行い、周辺と連携し駅前全体がまちづくり拠点となる計画とします。

## 2 関わりのきっかけをつくりつながりを芽生えさせる「ひだ」



接点を増やし関わりのきっかけをつくる凹凸のある「ひだ」形状を、建物の随所につくることで、人を呼び込み、周辺とのつながりをつくる計画とします。

## 3 みんなの声を受け止められるおおらかな建築計画

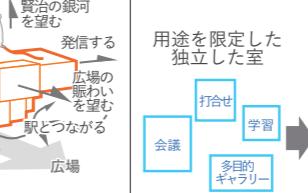


図12-10) おおらかな建築計画

市民利用空間は、用途を限定した個室で構成するのではなく、**一体化**的なワンルームを必要に応じて**移動間仕切り**で細分化できる平面計画とし、市民ニーズの変動におおらかに対応できる建築計画とします。

## 4 本と偶然めぐり会うワンフロア一筆書きの本棚配置



図12-11) 一筆書きの本棚配置

ワンフロアの開架スペース全体に、蛇行しながら流れる北上川や、渦を巻く銀河を想起させる一筆書きの本棚を配置することで、本との偶然の巡り合いが生まれる図書館とします。

## ア 図書館としての性能

### ◆郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館

#### 「花巻スパイラル」=ゆたかな花巻の風土を再解釈し引用した空間

- ・本との偶然の出会いをもむ本棚配置。
- ・目的の本への到達性を確保しつつ他の分類の本への寄り道を誘発する本棚レイアウト。
- ・10分類の各所に、**横断テーマ陳列**も可能な特設市民本棚を計画。
- ・閲覧テーブルに分散された**テーマ別司書おすすめ選書コーナー**を配置。

図12-5) 一筆書きの本棚が巡る2階イメージ

準開架

開架・閲覧

花巻駅

子ども

おはなし

カเฟ

なはんプラザへ繋がる立体的回遊動線

屋上銀河広場

駅～広場動線に面した情報発信スペース

ロータリー

駐輪場

研究・高齢者：障がい者サービス

事務室

地人の広場

小見世広場

屋根付きステージ・巻の舞台

めぐりの庭

多様なアクティビティ

参考資料

視聴覚

一般書架

児童書架

ティーンズ

地域（郷土）

新聞・雑誌

図書ステーション

よみきかせ

市民企画

多様なアクティビティ

図書ステーション

よみきかせ

## (様式 12) (A 3 版) 新花巻図書館整備基本・実施設計業務委託プロポーザル 提案書 (二次審査用) (2/2)

### ◆すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館

#### 多様な人々が利用しやすいワンフロア開架スペース



図 12-18 北上川・銀河状 本棚配置は思いがけないヒトと本との出会いを育む  
・誰にとっても使いやすいワンフロア・ワンルームの開架書架を2階に集約配置  
・低い書棚を中心配置することで、視線が通り、人や本との偶然の出会いを演出

子ども連れも来館しやすい声の出せる場や、集中できる静かな場をゾーニングすることで、気兼ねなく長居できる図書館



・静かに読書に集中できる閲覧コーナーと声を出しやすいエリアをゾーニングすることで、居心地の良い場を創ります。

#### アクセスのしやすい一体計画

・駅、なはんプラザ、駐車場をつなぐ  
・なはんプラザとの一体化し、市民活動を促します。  
・新図書館と一体的な立体回遊動線をつくることで、図書館となはんプラザの施設稼働率を高め、市民活動の促進を図ります。

#### 図書館へのアクセスバリアをなくす

・ピロティ下に思いやり駐車場をまとめて確保(5台)  
・なはんプラザ各階接続

### ◆暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

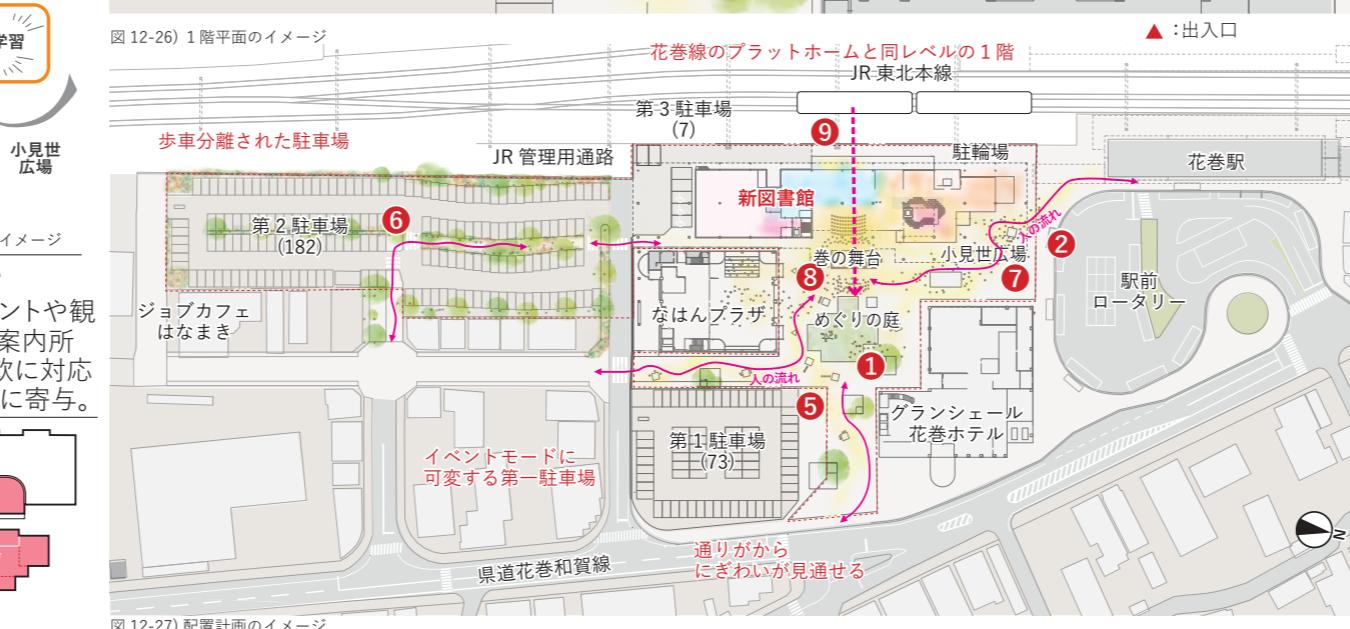
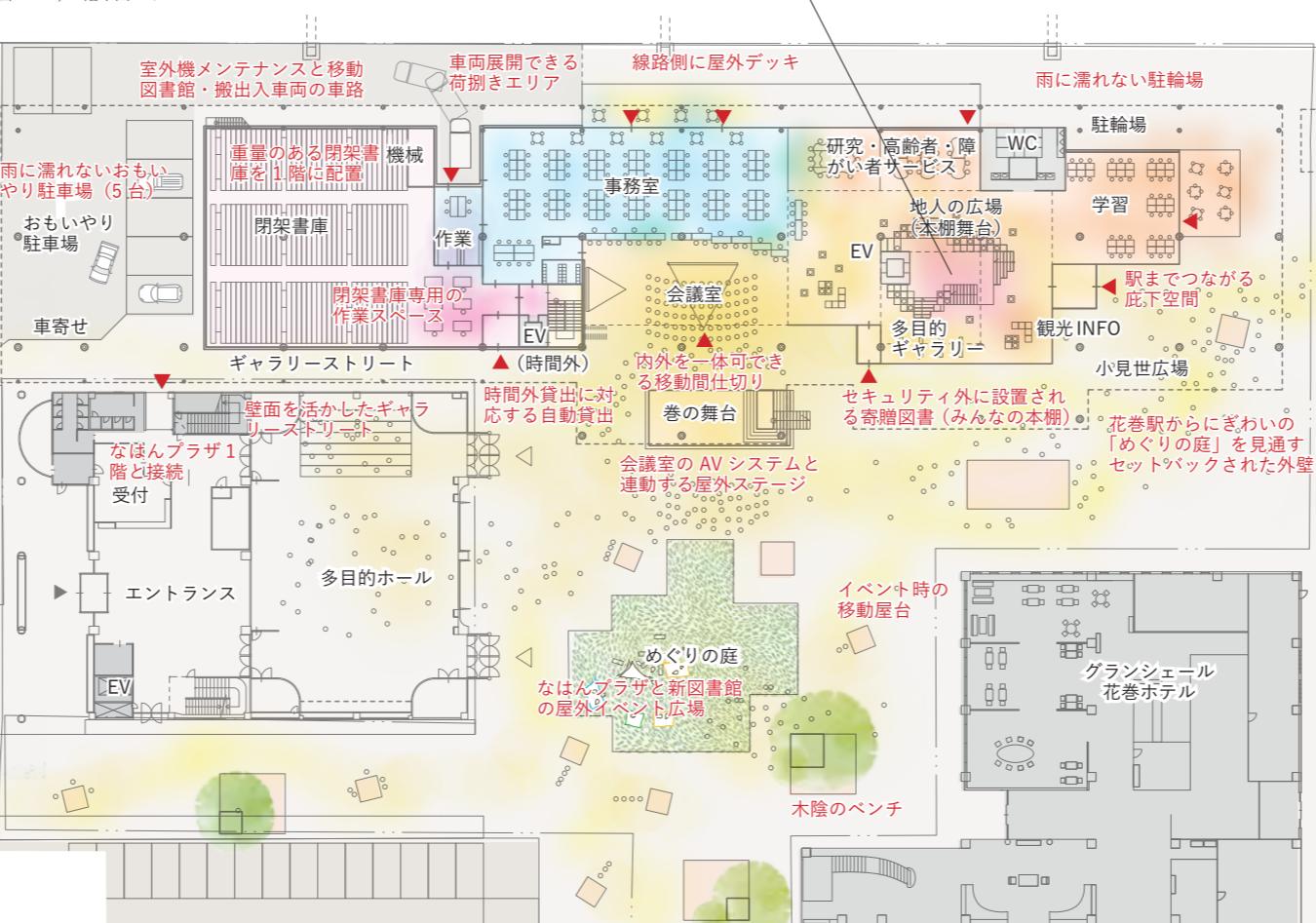
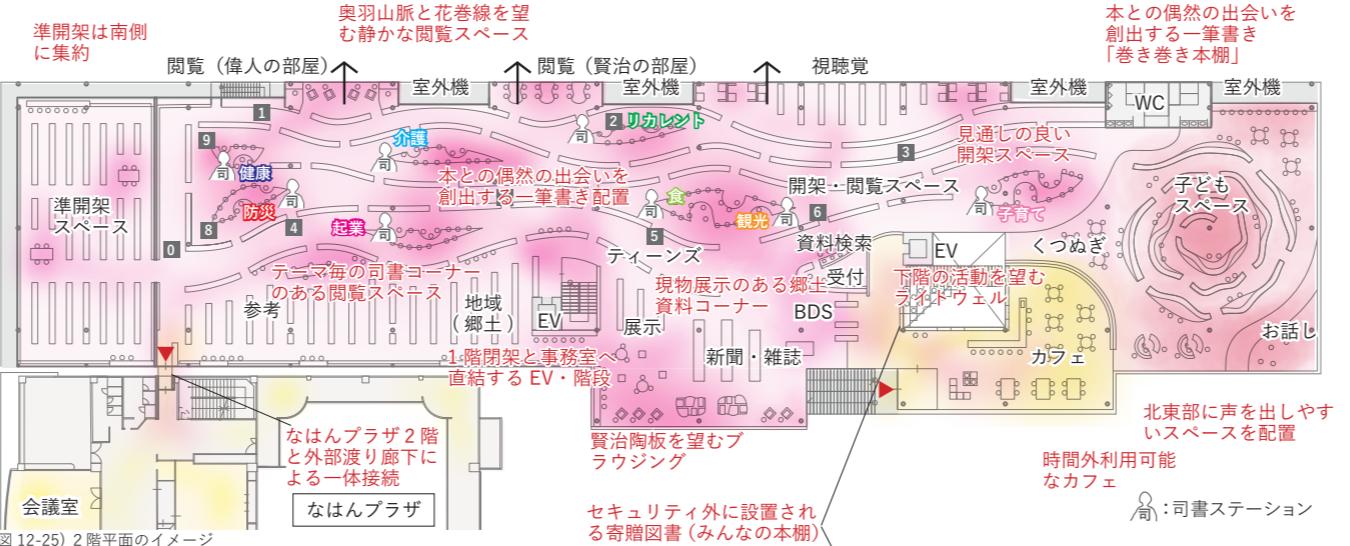
#### 地域課題解決の場リビングラボ

専門家や共有意識をもつ人々との交流を通じた相談打合せ(事務・研究)、意見交流の発表の場(会議・ギャラリー)が、交流が促進されるよう、ヒト通りの多い場(地人の広場)を取り囲むようおおらかに配置します。



#### 時間外でも立ち寄れる場所

図書館営業時間外でも利用可能なエリアを駅～「めぐりの庭」側に集約配置し、常に人の存在を感じられ、立ち寄りたくなる駅前施設を目指します。



### イ 公共建築としての持続可能性

#### ZEB 取得 弊社 ZEB 取得実績有

外壁開口率を抑え、かつ、高断熱屋根により実現。

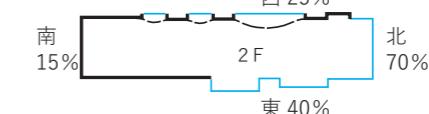


図 12-28 外壁開口率

#### まちの文化拠点化

市民活動の介入代のあるおおらかな間取りにより、市民の多様な活動を包括。

#### 将来の少人数運営への対応

1階は活動単位空間毎のセキュリティ区画とし、部分的機能変更も可能な計画。

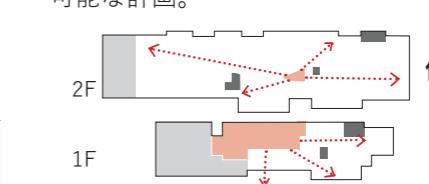


図 12-30 一体利用時

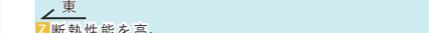
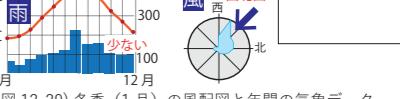


図 12-31 分割利用時

### 地域風向に配慮した軒下出入口計画

20°C  
1月  
12月  
雨  
西  
西北西  
東  
北



西側からの冬季季節風を防ぐ配置計画により、使いやすい外部庇下空間を実現。



図 12-30 一体利用時

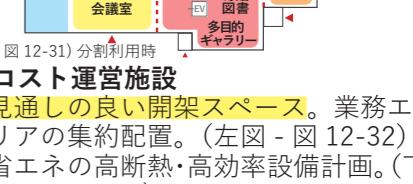


図 12-31 分割利用時

### 低コスト運営施設

見通しの良い開架スペース。業務エリアの集約配置。(左図 - 図 12-32)

省エネの高断熱・高効率設備計画。(下図 - 図 12-33)

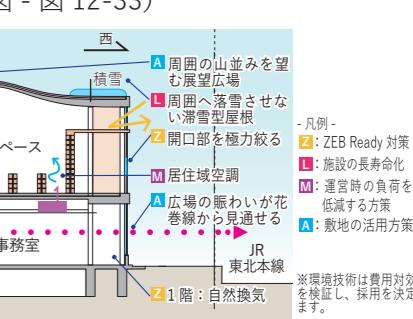


図 12-32 隅々まで届く平面計画

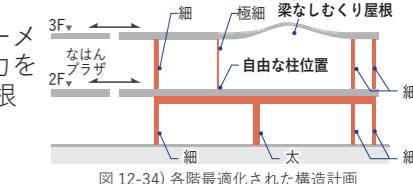


図 12-33 環境負荷低減と敷地の有効活用を踏まえた断面計画の考え方

### 機能に応じた各階構造の最適化

東西方向フレームの内、1階はラーメン構造、2階は西側の組柱で水平力を負担し、むくりのある梁なしの屋根スラブにより、大空間構造を実現。

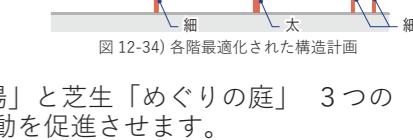


図 12-34 各階最適化された構造計画

### ウ 敷地の活用

#### 新しい駅前としての顔

①「駅前広場」、軒下の「小見世広場」と芝生「めぐりの庭」3つの広場を有機的につなぎ、市民の活動を促進させます。

②駅前側に常に人の気配が見えるように計画。(子どものエリアを北側に計画)駅側にも広場側にも玄関を設け、裏を作らず、人を迎える計画。

③プラウジングコーナーからも、なはんプラザの陶板や広場が見える。



図 12-35 屋上平面のイメージ



図 12-36 宮沢賢治の陶板を眺める閲覧コーナー

### 有機的な連携

④なはんプラザにも繋がる立体的回遊動線

⑤3つの隣接駐車場と「めぐりの庭」の一体的な大規模イベントに対応する外構計画。

⑥一般駐車場は第1・2駐車場を合理化し、十分な駐車台数を確保。(合計 262 台)

### 開かれた都市広場

⑦賑わいを発信する全天候型の「小見世広場」を花巻駅側に計画。

⑧ステージと屋内大会議室を広場側に隣接配置。屋内外の一体的なイベント利用に対応。

⑨電車から「めぐりの庭」の賑わいを感じる開放的な1階計画。

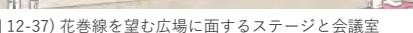


図 12-37 花巻線を望む広場に面するステージと会議室